



新年、明けましておめでとうございます。平成の世も4月までとなり、新しい時代を迎える本年が皆様にとって、明るく幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

**幅広い分野で
宇都宮の名が輝いた1年**

昨年は、本市に拠点を置く、チーム創設10年目の「宇都宮ブリッツェン」が国内最高峰ツアードである「Jプロツアー」で過去最多の10勝をあげ、4年ぶり3度目のチーム総合優勝を成し遂げました。また、スポーツクライミングで橋崎兄弟が「コンバインドジャパンカップ2018」で1・2位を独占し、国際大会でも活躍するとともに、作家の門井慶喜さんが「銀河鉄道之父」で第158回直木賞を受賞するなど、本市にゆかりのある人々が幅広い分野で活躍しました。

**「未来都市 うつのみや」へ
大きな一歩を踏み出した1年**

昨年は、まちづくりが大きく前進した1年でした。何と言っても、本市の総合的な公共交通ネットワークの要であるLRTの整備工事が始まりました。また、本市の特色である「大谷石文化」が5月に日本遺産に認定され、大谷観光のさらなる推進が期待されると

もに、産業・文化の両面においても大谷石文化に華を添える年となりました。さらに、未来を拓く創造・交流と賑わいの拠点となる宇都宮駅東口地区の整備事業の優先交渉権者が決定し、計画が具体化しています。そして民間調査においては、「共働き子育てしやすい街ランキング(※)」で、目標とする全国1位となりました。

このような結果は、次のようにさまざまな取り組みを進めてきた成果を、市内外から評価していただいたものと考えます。

**まちづくりの羅針盤である
第6次総合計画がスタート**

「未来都市 うつのみや」を推進するため、昨年は、「未来への投資」に力を入れた、さまざまな施策や事業を展開しました。

1子育て・教育・学習分野

妊娠・出産の希望をかなえる支援として、不妊治療費の助成額の初回を45万円に拡充し、中核市での助成額はトップとなりました。また、保育の供給体制の拡

※出典 日経DUAL×日本経済新聞社「自治体の子育て支援制度に関する調査」

新たな時代をリードする 「未来都市 うつのみや」 —2018年を振り返りさらなる飛躍の年へ

共働き子育て しやすい街 ランキング2018

※詳しくは、広報うつのみやプラス「子育てするなら宇都宮」をご覧ください。

▽出典 日経DUAL×日本経済新聞社「自治体の子育て支援制度に関する調査」

全国 **1** 位

住みよさ

5年連続

安心度・利便度・快適度・
富裕度・住居水準充実度

全国 **1** 位

▽出典 東洋経済別冊「都市データパック2013年版」～「都市データパック2017年版」人口50万人以上の28都市より

活力度

産業・消費(事業所数・
新設住宅着工戸数など)

▽出典 東洋経済別冊「都市データパック2018年版」
人口50万人以上の28都市より

全国 **1** 位

財政健全度

「脱借金体質」「弾力性・自主性」
「財政力」「財政基盤」

▽出典 東洋経済別冊「都市データパック2018年版」
人口50万人以上の28都市より

全国 **2** 位

充や保育士の着実な確保により、4月1日時点での待機児童ゼロを2年連続で達成しました。

2健康・福祉・医療分野 市民の健康づくりを推進するため、運動や健診の受診などの健康づくりに対してポイントを付与する「健康ポイント事業」を新たに開始しました。

3安心・協働・共生分野 女性活躍の推進のため、女性を中心に求職者が多い、オフィス企業の立地促進に向けた補助制度、女性や新卒採用者・若年子育て世帯などに対する家賃の助成制度を創設しました。

4魅力・交流・文化分野 本市の魅力の一つとなった「3x3」では、クラブ世界一を決める「FIBA3x3ワールドツアージャイナル」の本市開催が決定しました。また、大谷地域のさらなる振興に向け、観光施設の開発許可基準の緩和を契機に飲食店などが出店し、「道の駅「ろまんちっく村」では、新たにホテルが建設されることとなりました。

5産業・環境分野 大消費

地の東京都などに加え、外国人をはじめ観光客が多く滞在する沖縄県においても、本市ブランド農産物などの宣伝販売を新たに行いました。

6都市空間・交通分野 黄色がシンボルカラーのLRT車両デザインを決定した他、東西基幹公共交通としてJR宇都宮駅西側のLRT整備の検討を進めました。

**新たな時代へ向けて
2019年の抱負**

「第6次総合計画」で掲げた将来の都市像である、「輝く人の和つながるまちの環魅力と夢の輪 うつのみや」の実現を図るため、次代を築く人材の育成や都市の魅力向上を通じた本市への誇りと愛着の形成などによる「人づくり」と、地域経済の活性化や快適で魅力ある都市空間の形成などによる「まちづくり」を、一体的に推進していきます。

本年も、市民の皆様と一緒に汗をかき、全力で取り組んでまいりますので、どうかより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「未来都市 うつのみや」の実現に向けて 第6次宇都宮市総合計画によるまちづくり



今後の人口減少、少子・超高齢社会の進行や社会経済環境の変化などを踏まえ、2050年を目標年次とした第6次総合計画を推進しています。
総合計画は、将来を見据えた「まちづくりの羅針盤」です。
計画に掲げた「6つの未来都市」の実現に向けた取り組みを紹介します。

1

安心して出産・子育てができる環境が整い、次世代の「人づくり」が充実し、誰もが生涯にわたって主体的に学ぶことができる

「子育て・教育の未来都市」

(子育て・教育・学習分野)

- ▽継続的な待機児童ゼロの実現に向けた取り組みや幼児教育無償化の円滑な実施
- ▽生まれ育った環境に左右されることのないよう、子どもの貧困や児童虐待への対策を強化
- ▽2020年度から開始する郷土を愛し誇りに思う態度を育む「宇都宮学」や、同年度から小学校で必修化となる「プログラミング教育」の円滑な実施に向けた準備 など



2

医療・福祉が充実し、誰もが健やかで生きがいを持って自立した生活を送ることができる

「健康・福祉の未来都市」

(健康・福祉・医療分野)

- ▽地域支え合い活動の創出に向けて話し合う第2層協議体の市内39地区への設置促進などによる地域包括ケアシステムのさらなる推進
- ▽各地域の特性やデータ分析に基づく保健福祉施策の展開
- ▽障がい者のグループホームの設置促進 など



3

緊急時への備えが万全で、地域のつながりや支え合いが大切にされ、日常生活において誰もが不安なく、安全・安心を実感して暮らせる

「安全・安心の未来都市」

(安心・協働・共生分野)

- ▽河川や雨水幹線の整備、ハザードマップの作成・配布など、ハード・ソフト両面からの総合的な治水・雨水対策の推進
- ▽「まちづくり活動に参加しやすい仕組み」として、活動への参加者にポイントを付与する「まちづくり活動応援事業」を本格化
- ▽ICTを活用した外国人住民に対する生活支援の充実 など



4

地域資源の魅力を創造・発信し、人や情報が行き交い活力が生まれる

「魅力創造・交流の未来都市」

(魅力・交流・文化分野)

- ▽観光地「大谷」のさらなる振興に向けた地域活性化策の推進および快適に回遊・滞在できる交通環境の実現
- ▽2020年東京五輪の正式種目である3人制バスケットボール「3x3」のクラブ世界一決定戦「ワールドツアーファイナル」が本年11月に本市で開催されることが決定
- ▽2020年オープンに向けたろまんちっく村における民間事業者によるホテル建設
- ▽学生などに対する市内企業の魅力発信による地元就職の促進 など



5

地域の確固たる経済力の維持・発展と環境に優しい都市の実現が両立する

「産業・環境の未来都市」

(産業・環境分野)

- ▽「(仮称)中小企業振興プラン」に基づく、経営・雇用などの支援の充実
- ▽農業者の所得向上のため、宇都宮産農産物の市内外における販路拡大
- ▽LRT沿線における低炭素化の促進に向けた取り組みの検討 など



6

魅力ある都市空間の創造と骨格の強い交通ネットワークが構築された

「交通の未来都市」

(都市空間・交通分野)

- ▽「いちご一会とちぎ国体」開催年である2022年の早期供用開始を目指し、宇都宮駅東口地区整備を着実に推進
- ▽2022年3月の開業に向けた車両設計の認可取得などLRTの整備や、LRTと連携したバス路線の再編に向けた取り組みを着実に推進
- ▽LRTやバス、地域内交通の乗降時間の短縮や乗り継ぎの円滑化に資する交通ICカードの導入に向けた取り組みを着実に推進
- ▽「(仮称)大谷スマートインターチェンジ」の早期開通に向けた取り組みを着実に推進 など

